

2013年(平成25年)8月5日(月曜日)

総合

激戦だった参院選を振り返り、関係者に謝意を伝える大沼瑞穂参院議員(中央奥) 山形市・山形国際ホテル



参院選

「猛追振り切った」

大沼氏選对本部が総括

7月21日に投開票された参院選選挙区で初当選した大沼瑞穂氏(自民)の選挙対策本部懇談会が4日、山形市の山形国際ホテルで開かれ、「前例のない総力戦で(相手候補の)猛追を振り切った」とする選挙総括を行った。

総括を行った自民党県連の野川政文幹事長は「終始リードしつつも、差を広げられないまま終盤にもつれこんだ。JA、吉村美栄子知事後援会、自治労といった野党連合の猛追に苦戦した」とした上で「党の重点選挙区となり、閣僚、党幹

部の来県や、演説会などで5万人近い有権者に政策を訴え、課題だった知名度不足を克服した」とした。

大沼参院議員に対しては「大沼氏と山形とのかかわりを指摘するネガティブキャンペーンに苦しんだ。山形で子育てをすることを夫婦、家族で十分に話し合っしてほしい。激戦の末に勝ち取った議席であり、堂々と国会の場で活躍してもらいたい」などとエールを送った。

席上、同県連の遠藤利明会長は公正取引委員会が独禁法違反の疑いでJAを立ち入り検査したことと、JAの政治団体・県農協政治連盟が野党候補を推薦したこととの関連が一部で指摘されたことに触れ、「警察や国税庁、公取委は時の権力に左右されない。『農家・農業』を守るという視点で調査の推移をしっかりで見守る」と強調した。